

## 令和3年度亜熱帯緑化事例発表会 審査講評

『自分達でできることは自分達で成し遂げる～行動を続けることの大事さを考える～』

南城市つきしろ地区は、合併前の3町村にまたがる丘陵地に1970年代に造成された新興住宅地の1つですが、10年前までは空き地が目立ち、こうした場所にありがちな住民同士のつながりの希薄さのため、空き地に雑草が繁茂してゴミが投棄されるなどの問題が生じていました。つきしろ自治会では、平成22年以降、地権者と連絡をとり、ボランティアを募ることから始め、県緑化推進委員会の助成を得て地道に空き地を除草し、花の苗を植える活動を続けました。これによって住民の意識も変わっていき、さらに空き地を活用した区民農園・果樹園の造成、台風で倒れた造成当時の街路樹に替わる新たな街路樹の植栽へとつながっていきました。こうした活動は県などから評価されてたびたび表彰され、地区そのものの魅力も高まって現在に至っています。現在は、地区の美化を目的に設立された「つきしろ環境美化団体」を構成する11団体が主体として活動を行っていますが、団体に所属しない人たちも積極的に活動に加わるようになりました。このような好循環を生むに至った、地元住民の創意による地道で継続的な活動が評価されました。

(令和3年度亜熱帯緑化事例発表会審査委員会)